



だより



R8.4.16 Vol.2

1 週間が経ちました…

今年度がスタートして 1 週間が経ちました。子供たちの様子はいかがですか？ 1 週間子供たちの様子を見ていて感じたことを少々。校内を回っていると、落ち着いた態度で学習に臨む雰囲気を感じます。休み時間は元気いっぱい外で遊んでいる様子も微笑ましいです。時と場に応じた切替えがきちんとできていることに感心しています。

朝の挨拶もきちんとできているのですが、少し欲を言えば「腹から声を出す！」ができればさらにいいですね。

まだ半分眠っている身体をしっかりと起こしてやるためにも、「腹から声を出す！」とても大切なことです。



窓からの風景

校長室の椅子に腰掛け、外を眺めていると、様々な風景が目に見え飛び込んできます。体育館奥のお四国山。かつて担任していた子供たちを連れてよく登ったものです。集会があることをすっかり忘れ、山から戻って上司に平謝りしたこともありました。運動場の奥に立つ桜は、今も変わらず四季の移り変わりを知らせてくれています。その横にはプール。当時の教頭先生に「いつまで泳がすんぞ！はよやめんか！」と注意されながら指導していた水泳部のことを思い出します。昼休みには本気で子供たちとドッジボールをしていました。「本気で投げてくれ！」と言ってきた当時の子供たちの顔が今でも思い浮かびます。そして今、その運動場を笑顔で駆け回っている松蔭っ子たち。変わらぬ景色の中で変わっていく子供たちが時代の流れを教えてください。そんなことを改めて実感しています。

この子供たちの笑顔をこれからもずっと守っていったりやりたいですね。がんばります！

四方山話松蔭 ver. 其の二(チャレンジの扉)

ちょうど 1 週間前になるでしょうか？ 始業式で子供たちにこんな話をしました。

「みなさんに質問とお願いです。まずは質問『みなさんは夢がありますか？』将来になりたいものでもいいし、今年 4 月から頑張りたいものでも構いません。これからの未来に向けての思いはすべて夢だと校長先生は思っています。もし思い浮かばない人がいたら、何でもいいので、これからの夢を作ってください。それができたら今度をお願いします。『その夢に向かって小さなチャレンジの扉を開けていきましょう。』夢が、パイロットになりたいだったとします。まだ小学生なのでいきなりパイロットの訓練を受けることはできません。でも小さなチャレンジをすることはできます。例えば『4 月は大きな声で挨拶をする。』そんな少しがんばったらクリアできそうな小さなチャレンジの扉を自分の前に作ってください。それが頑張れたら、一つ目の扉を開けて、二つ目の扉をまた作ってください。『九九をがんばる。』『25m 泳げるようになる。』『毎日夕日に向かって今日も楽しかったぜー！と叫ぶ』なんでもいいです。そうやって二つ目の扉がクリア出来たら、三つ目の扉を作る。そんなふうに自分の目の前に、チャレンジの扉を作り続けてください。途中で夢が変わっても全然かまいません。大切なのはチャレンジし続けることです。扉を開け続けていたら、必ずそれは皆さんの夢につながると校長先生は信じています。もちろん校長先生も小さなチャレンジを続けていきます。校長先生の今の夢は「楽しい松蔭小学校をもっと楽しい学校にすることです。」そして校長先生が作る一つ目のチャレンジの扉は『松蔭小の子供たちの顔と名前を 4 月中に覚えることです。』一緒に夢に向かってがんばっていきましょう。」

何かに向かって努力すること！大人になっていく過程で絶対に必要な経験です。私はとうに、最盛期を過ぎた大人ですが、(笑)それでもチャレンジはし続けていきたいと思っています。

----- 切 り 取 り 線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。